

一般社団法人伊江島観光協会民家体験（泊）事業受入民家用 新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン [1.4版]

一般社団法人伊江島観光協会民家体験（泊）事業部

1. 基本チェック項目

- ・受入民家の最低1日1回受入前、受入後の体温測定
 - ・受入民家並びに受入生徒達の手指消毒の徹底
 - ・受入民家のマスク着用並びに受入生徒達のマスク着用の周知徹底
- ※マウスシールド・アクリル板等の使用により飛沫感染防止を行っている場合は着用の徹底は必ずではない。又、フェイスシールドを使用する場合は必ずマスクと併用する事。
- ・施設内の手指の消毒設備（アルコール）の設置及び周知徹底

2. 基本的な感染拡大予防対策

(1) 感染症防止のための方法

①密にならないための対策

- ・受入生徒達が並ぶ場合、可能な限り間隔を空けるよう誘導する。

②その他

- ・家の部屋が狭い場合は「換気の悪い密閉空間」「密集」「近距離での会話や発話」が重なることを可能な限り避ける様万全の対策を講じる。※但し、生徒については既に前泊の宿舎やバスでの移動を行っているので、生徒同士だけの場合はあてはまらないものとする。
- ・一定時間ごとに部屋の窓を開けて換気を行う。
- ・特定警戒都道府県や緊急事態宣言が解除されていない地域等については受け入れを行わない。

(2) 対人距離の確保の方法

①接触感染対策

- ・席は対面にならない等可能な限り配置を工夫し隣同士の間隔も可能な限り広くする。
- ・他人と共有する物品は可能な限り少なくし、割り箸やコップ等を常時テーブルに置くことを中止する。

②飛沫感染対策

- ・受入民家と生徒達との食事中での会話は生徒とコミュニケーションを図る上で必要なもので有る事から、しっかりとした感染予防対策を講じ（テーブルを分ける、民家と生徒達の食事の時間を分ける等）、対応する。
- ・料理は原則として大皿での提供は行わず個別に分けて配膳する。若しくは取分け用の箸、スプーン等を必ず準備する（取分けの際は毎回新しい手袋の使用若しくは使用前後の消毒の徹底を行う）。

※食品を介して新型コロナウイルス感染症に感染したとされる事例は報告さ

れていません。

(3) 施設の換気対策（屋内）

・常時、窓は二カ所以上空けておく。若しくは空調設備を稼働等、適切な空調換気を行うこと。

(4) 施設・設備・物品等の消毒対策

- ・複数の人が触れる場所は適宜消毒を行い、テーブル、ドアノブ、タブレット、などの高頻度に接触する箇所は、消毒用アルコールや家庭用塩素系漂白剤を用いて特に注意して消毒を行う。
- ・車両を使用する場合は車内の換気機能を最大限に作動させ、全員がマスク着用した前提で1人1席ずつの座席確保で対応する。
- ・受入に使用した車両は実施後の消毒、換気を行い、ドアノブ、座席等高頻度に接触した箇所は特に注意して消毒を行う。

【参考】貸切バス：バス車内空気の換気による完全入替に必要な時間

5～6分常時作動（バス製造会社HPより）

- ・体験に使用した道具類等は可能な限り共有を少なくし、共有する場合はこまめな清掃・消毒を行う。
- ・屋外での体験の際、マスクを着用する場合、天候によっては熱中症のリスクが高まる事に留意し、息苦しさを感じた時は直ぐにマスクを外す事や休憩を取る等事前にアナウンスを行う。
- ・体験の性質上生徒に触れなければいけない場合、他の生徒に触れる前にアルコール等で消毒を行い対応する。
- ・手や口が触れるもの（コップ・箸など）は適切に洗浄及び消毒する、又は使い捨てを使用する。
- ・衣類はこまめに洗濯する。
- ・室内でスリッパ等使用する、受入生徒達に使用させる場合は受入後の清掃消毒をする、又は使い捨てに変更する。

(5) その他基本的な感染拡大予防策

・トイレ等でハンドドライヤーを設置している家は使用を止め、ペーパータオルを設置する。共有で使用するタオルは設置しない。

- ・唾液等が付着するゴミは、ビニール袋に入れて密閉した上でゴミ袋に入れる。若しくは受入生徒達に指導する。
- ・マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手洗いを行う。
- ・万が一、体調不良者や、感染症の疑いのある患者が発生した場合に備え、利用者を追跡出来るよう名簿の管理、受入中の行動が極力細かに解る様な記録を行う。この場合の個人情報の取り扱いは、法令を遵守し適正な管理を徹底する。

・実施前2週間程前から実施後1週間程度検温及び健康観察シートの記録を行う。提出の義務は無いが状況に因っては提出が必要になる事も有る。

・受入時期は可能な限り島外への移動を自粛する。

・スマートフォンを所有されている方は厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリをインストールする事を推奨する。

3. 伊江島観光協会独自の感染予防対策

・万が一感染が疑われる様な症状が生じた場合、弊会を通じて伊江村診療所へ連絡をする。

その後の対応については下記の通り伊江村独自の感染予防対策に準ずる。

新型コロナウイルス感染症対策事業において感染症の疑いのある患者に対して**診療所医師が、隔離措置が必要と判断した場合**には感染拡大防止するため患者の療養施設を確保し、**1週間程度の経過観察期間**を設けるものとする。村民については各家庭での療養を基本とするが居住環境等で二次感染が懸念される場合においては療養施設での経過観察を行う。

・療養施設の利用料について

- (1) 伊江村在住の村民・・・伊江村負担
- (2) 一般客及び村外の方・・・**宿泊費等全額自己負担**

4. その他の留意事項について

国内外の状況も鑑みつつ、今後、新たな感染者が確認された場合には、再度感染症対策の強化措置を講じる場合がございます。

・本ガイドラインの内容については誰かが理解しておけば良いというものでは有りません。同居する家族、体験を手伝う人がいる場合は全ての方々の内容の把握が必要です。

5. 発熱や咳の他、何らかの症状がある方への対応について

発熱・咳・強いだるさや息苦しさ等の症状や
いつもと違う体調不良を感じたら・・・

- (1) 伊江村では、下記の診療所で相談・受診をすることができます。
37.5 度以上の発熱がある場合は、**必ず事前に連絡を入れ**、診療所の医師の指示に従って受診してください。

伊江村診療所

住 所：伊江村字東江前 4 5 9 番地

☎：0 9 8 0 - 4 9 - 2 0 5 4

<受付時間>

午前 8 時 ~ 11 時 30 分

午後 1 時 ~ 4 時 30 分

(土日・祝祭日 休診)

救急の場合については、
24時間受付しています。

- (2) また、「新型コロナウイルス」感染が疑われる場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

●旅行者専用相談センター沖縄 (T A C O) (6:00~23:00 無休)

☎：0 9 8 - 8 6 6 - 2 1 5 9

- 新型コロナウイルス感染症患者との「濃厚接触歴」がある場合は下記の保健所に電話連絡してください。

県北部保健所（帰国者・接触者相談センター）

☎：0980-52-5219

濃厚接触とは、下記①②③のいずれかにあてはまる接触行為のこと

- ① 患者と同居あるいは長時間の接触（車内・航空機内）があった
- ② 適切な感染防護なしに患者を診察・看護・介護
- ③ 患者のタンやツバなどに直接接触した可能性が高い

- 一般の方（保健所から濃厚接触者と特定されていない方）は下記
県コールセンターにご相談ください。

新型コロナウイルス感染症相談窓口（コールセンター）

☎：098-866-2129（24時間対応）

感染防止チェックリスト

| | | |
|--|---|--|
| <input type="checkbox"/> 受入前の民家（家族全員）の体温測定 | <input type="checkbox"/> 受入中生徒の体調不良の有無 | <input type="checkbox"/> 受入中生徒使用の食器等の清掃・消毒 |
| <input type="checkbox"/> 受入民家（家族全員）手指消毒の徹底 | <input type="checkbox"/> 受入中生徒の体温測定 | <input type="checkbox"/> 受入後の食器等の清掃・消毒の徹底 |
| <input type="checkbox"/> 受入生徒への消毒設備場所の周知徹底 | <input type="checkbox"/> 受入中生徒の手指消毒の徹底 | <input type="checkbox"/> 受入後の民家（家族全員）の体温測定 |
| <input type="checkbox"/> 受入生徒へのマスク着用の周知徹底 | <input type="checkbox"/> 体験に使用した道具類等の消毒徹底 | <input type="checkbox"/> 受入後の設備の清掃・消毒の徹底 |

新型コロナウイルス感染症 相談・受診フロー（一般の方向け）



新型コロナウイルス感染予防の為の消毒方法

| 消毒場所 | 消毒方法 | |
|-----------------------------|--|---|
| 手・指 | 石けんを用いた正しい手洗い 手指消毒用アルコールの使用 | |
| 手指がよく触れる場所 ドアノブ・テーブル・床など | 濃度0.05%の次亜塩素酸ナトリウム (塩素系漂白剤)を用いた消毒液の使用 | 家庭内にある 次亜塩素酸ナトリウム (塩素系漂白剤)で簡単に 消毒液を作ることができます |
| 嘔吐物が付着した床など | 濃度0.1%の次亜塩素酸ナトリウム (塩素系漂白剤)を用いた消毒液の使用 | |



手指の消毒には消毒用のアルコール、
ドアノブやテーブル、床など家庭や職場の共有部分の消毒には
次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)が有効です。

なお、次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)は使い方を間違えると
効果がなくなるだけでなく思わぬ事故につながる場合があります。
使用目的に応じた希釈や使用方法、保管時の注意事項を守りましょう。



次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)を用いた 消毒液の注意事項

- ・ **手指など皮膚の消毒には使用しないでください。**
- ・ 使用する際は十分に換気をしながら行う。
- ・ 次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)を吸い込んだり、
直接手指についたりすることを防ぐためマスクやゴム手袋を着用する。
- ・ 次亜塩素酸ナトリウムの消毒液は作り置きすると時間が経つにつれて効果が減っていくため
使用するたびに原液から希釈して作る。
- ・ 汚れが残ったまま使用すると効果が弱まるため、できるだけ汚れを落としてから使用する。
- ・ 次亜塩素酸ナトリウムの消毒液を保管する際は、
容器に「消毒液」と記載し子どもの手の届かないところに保管する。
- ・ 商品により取り扱いが異なるので、原液の使用法や使用上の注意を確認し使用する。



②

次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)を用いた 消毒液の作り方

消毒液を作る際は
マスクやゴム手袋を
着用してください

※原液濃度5%の塩素系漂白剤を使用した場合

| 使用目的 | 濃度 | 作り方 |
|------------------------|-------|---|
| ドアノブ、テーブル 手すり、床、便座等 | 0.05% | 500mlのペットボトル1本の水に塩素系漂白剤を 5ml(ペットボトルのキャップ1杯)入れる。 |
| 嘔吐物が付着した床等 | 0.1% | 500mlのペットボトル1本の水に塩素系漂白剤を 10ml(ペットボトルのキャップ2杯)入れる。 |



※ペットボトルのキャップ1杯は約5mlになります。

※塩素系漂白剤に付属のキャップは10mlや25ml等
商品によって容量が異なります。
塩素系漂白剤に付属のキャップを使用する際は
キャップの容量を確認してください。

③

消毒方法

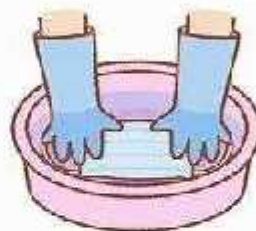


消毒の際は
マスクやゴム
手袋を着用
してください

※手指など皮膚の消毒には使用しない。

- ・パケツや容器に適切な濃度に薄めた次亜塩素酸ナトリウムの消毒液をいれてペーパータオルやクッキングペーパー、使い捨てできる布等に十分に含ませて一方向に拭く。

※拭き取りは往復するとウイルスを拡げてしまう為
同一方向に進み、後に戻らないようにする。



- ・しぼる時は、消毒液が残るように、強くしぼりすぎない。
- ・手指がよく触れる場所を中心に消毒する。
例：ドアノブ・テーブル・床・照明のスイッチ等
- ・金属部分は腐食する可能性があるため、消毒した後に水拭きをする。
- ・消毒液をスプレー容器に入れて噴霧すると霧状の液を吸い込むことがあり、咳き込んだり呼吸器に異常をきたしたりする恐れがあるためスプレー容器は使用しない。
- ・作業後は、手洗い・うがいをしっかり行いましょう。



④

新型コロナウイルス対策

ご家庭にある洗剤を使って 身近な物の消毒をしましょう

洗剤に含まれる界面活性剤で新型コロナウイルスが効果的に除去できます

試験で効果が確認された界面活性剤

- ▶ 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム (0.1%以上)
- ▶ アルキルグリコシド (0.1%以上)
- ▶ アルキルアミノオキシド (0.05%以上)
- ▶ 塩化ベンザルコニウム (0.06%以上)
- ▶ 塩化ベンゼトニウム (0.05%以上)
- ▶ 塩化ジアルキルジメチルアンモニウム (0.01%以上)
- ▶ ポリオキシエチレンアルキルエーテル (0.2%以上)
- ▶ 純石けん分 (脂肪酸カリウム) (0.24%以上)
- ▶ 純石けん分 (脂肪酸ナトリウム) (0.22%以上)

※ 新型コロナウイルスの感染を抑制し、
にじみ洗剤を効果的に活用するための洗剤
の効果が確認されたものを掲載しています。
詳細は「洗剤の成分情報」をご覧ください。
<https://www.nite.go.jp/information/karantairyo/20200402.html>

※ 上記以外の界面活性剤については効果があ
り得る可能性があります。

ご家庭にある洗剤に、どの界面活性剤が使われているか確認しましょう

- 効果が確認された界面活性剤が使われている洗剤のリストを
NITEウェブサイトで公開しています（随時更新）
<https://www.nite.go.jp/information/osirasedetergentlist.html>



- 製品のラベルやウェブサイトなどでも、
成分の界面活性剤が確認できます。

※製品の成分表示は製造業者が正しい成分を記載している場合、
自治体などから提供されたもの、ウェブサイト上のものと
製品ラベルの成分表示が一致しないことがあります。

| | |
|----|-------------------------------------|
| 品名 | エコ洗剤 白成分洗剤 |
| 成分 | 界面活性剤 (0.2% アルキルアミノオキシド)、塩化ベンザルコニウム |
| 容量 | 400ml |

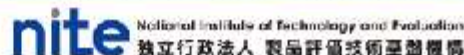


使用上の注意を守って、正しく使いましょう

- 身近なものの消毒には、台所周り用、家具用、お風呂用など、
用途にあった「住宅・家具用洗剤」を使いましょう。
- 安全に使用するため、製品に記載された使用方法に従い、使用
上の注意を守って、正しく使いましょう。
- 手指・皮膚には使用しないでください。



本資料は、2020年6月26日現在の知見に基づいて作成されたものです。随時修正されます。



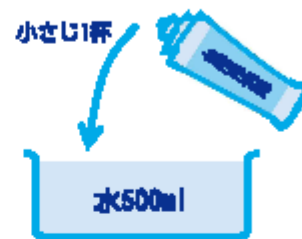
「住宅・家具用洗剤」が手元にない場合には？

台所用洗剤を使って代用することもできます。

「住宅・家具用洗剤」を使用する場合は、製品に記載された使用方法どおりに使用してください。

(1) 洗剤うすめ液を作る。

たらいや洗面器などに500mlの水をはり、台所用洗剤を小さじ1杯(5g)入れて軽く混ぜ合わせる。
(食器洗い専用洗剤ではなく、スポンジなどにつけて使う洗剤です。有効成分の割合が異なりますから確認しましょう。)



(2) 対象の表面を拭き取る。

キッチンペーパーや布などに、(1)で作った溶液をしみこませて、液が垂れないように絞る。汚れやウイルスを広げないように、一方向にしっかり拭き取るようにする。

(3) 水拭きする。

洗剤で拭いてから5分程度たったら、キッチンペーパーや布などで水拭きして洗剤を拭き取る。特に、プラスチック部分は放置すると傷むことがあるので必ず水拭きする。



(4) 乾拭きする。

最後にキッチンペーパーなどで乾拭きする。

台所用洗剤で代用する場合は…

安全上の注意

- 手袋・虫歯には使用しないでください。
- スプレーボトルでの噴霧は行わないでください。

効果的に使うためのポイント

- 作り置きした液は効果がなくなるので、洗剤うすめ液は、その都度使い切りましょう。
- 台所用洗剤でプラスチック部分(電話、キーボード、マウス、TVリモコン、包廬とフタ、照明のスイッチ、時計など)を拭いた場合、そのまま放置すると傷むことがあります。必ず、すぐに水拭きしましょう。
- 塗装面(家具、ラッカー塗装部分、自転車の塗装面など)や、水がしみこむ場所や材質(布製カーテン、木、壁など)には使わないでください(シミになるおそれがあります)。

